

2学期のキーワード

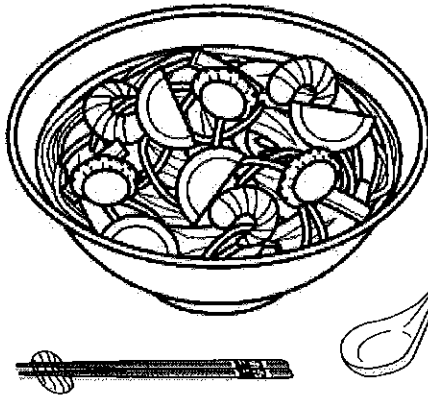
2学期が始まって1週間が過ぎました。夏休み中盤は雨続き、終盤はコロナ蔓延防止措置のため外出自粛、部活動も中止となり、生徒もストレスがピークになりつつあるようです。そのためか、この1週間は全体的に元気が無かったように感じます。

さて、1日の始業式で、生徒に次のような話をしました。

2学期のキーワード、それは“怒(じよ)”と“敬”です。“怒”とは、孔子が語ったことばで、その意味は“己の欲せざる所、人に施すことなかれ”簡単に言うと“思いやり”です。“敬”とは「相手を尊んで、礼を尽くす」という意味を持つ言葉です。すなわち“人を大切にする”ということです。1学期、あなた方は多くの行事や学習を通して確実に成長しました。2学期、更にレベルアップするために、「相手の立場になって考え行動する」これを実践して欲しいと願っています。



“辛い”できごと



つい先日のこと。妻：「お父さん、チャンポン食べる？」
私：「うん、半分ぐらい食べる。」10分後、食卓に運ばれたチャンポンを一口食べて、「うっ、辛！！」それを横目に見ていた娘がニヤッと笑いながら、「さっきね、母さんが間違っってコショウをドバーと入れてさ、慌ててすくい出していたよ！！」せっかく作ってくれたチャンポンを「辛いから食べない！」とは言えず、何とか食べ終わりましたが、
(決して妻が怖いからではありません。相手の立場になって考え行動したので。誤解がないように・・・) いずれにしても、本当に“辛くて辛い”できごとでした。

せっかくですので関連して・・・“辛”に横棒一本入れれば“幸”になる。これがよく話のネタにされますが、“辛い”と“幸い”は全く逆の意味、漢字の「似て非なるもの」の代表格です。実は上記の“怒”にも「似て非なるもの」があります。もうお分かりですよ。それは“怒”です。これも一カ所違うだけで、対極的な意味になってしまいます。やはり、日本語は面白いですね。

最後に質問、チャンポンといえばやはり“生タマゴ”です。で、これを漢字で表すと“卵”か“玉子”、どちらでしょうか。正解は“卵”です。この2つの漢字の違い、わかりますか。実は生の場合は“卵”、加熱されたり調理された場合は“玉子”と表記されるそうです。かなり話がそれてしまいました。まあ、今回の話題は内容がチャンポンでしたね。お後がよろしいようで・・・